

4月以降の県ワクチン接種センターの体制

追加接種を加速するため、

4月8日(金)から東部会場、北部会場を開設し、**県内4か所体制**とします

	NEW! 東部会場(越谷市)	NEW! 北部会場(熊谷市)	南部会場(さいたま市)	西部会場(川崎市)
開設日	4月8日(金)	4月8日(金)	稼働中	稼働中
予約開始	3月29日(火)16時	3月29日(火)16時	予約受付中	予約受付中
会場	南越谷ラクーン (南越谷駅・新越谷駅 徒歩3分)	ニットーモール (熊谷駅 徒歩3分)	埼玉県浦和合同庁舎 (北浦和駅 徒歩10分)	山崎ビル (川越駅 徒歩1分)
受付時間	全日 10:30~19:00	全日 10:30~19:00	全日 10:30~19:00 ※4月1日から変更	平日 10:30~19:00 土日祝 9:30~18:00

- ▶ **対象** ・県内に住民票がある3回目接種券をお持ちの方
・接種日時点で18歳以上の方
・2回目の接種日から6か月経過した方

- ▶ **ワクチン** 武田/モデルナ社製ワクチン
▶ **予約方法** 予約サイトからの事前予約
※空き状況により、当日受付を会場で行います

新型コロナウイルス感染症の後遺症（罹患後症状）外来

R3.9以前 限られた医療機関でのみ後遺症（罹患後症状）を診療 ※R3.8月時点：4医療機関（インターネットによる確認）

R3.10.1~

県と県医師会が連携し
後遺症外来の事業を実施

422症例を
とりまとめ



7医療機関9診療科で
後遺症外来診療を
実施し、症例を収集

**「診療の指針となる症例集」
が完成**



- ・各診療科の具体的な対処法を記載
- ・臨床現場の経験を踏まえた実践的な内容

令和4年3月4日

- ・症例集を県内全ての医療機関へ送付
- ・症例集を県のホームページに公開
⇒ 4月以降に後遺症外来を実施する
医療機関の募集を開始

令和4年3月25日

- ・症例集を説明する講演会を実施

県内の多くの医療機関で診療が可能に

応募医療機関数

147

医療機関(3月29日現在)

R4.4.1~

後遺症外来を実施する医療機関を4月1日より県のホームページで公開

詳しくは **埼玉 後遺症**  で検索

入所系福祉施設への抗原検査キットの配布

感染スピードが速いオミクロン株の特性を踏まえ、福祉施設での速やかな検査の実施により感染を早期に発見し、クラスターの発生を防止する。

重症化リスクの高い方が入所する福祉施設に**抗原検査キット**を配布

高齢者施設

約**1,500**施設

(特養、老健、グループホームなど)

障害者施設

約**500**施設

(障害者支援施設、グループホーム)



配布数**50,000**個 本日3月29日より希望する施設へ配布

事業所で感染者が発生した場合の対応

事業所

■体調の悪い従業員は出勤させず、医療機関を受診させる。
(医療機関での検査は無料)

■従業員が体調不良を訴えた場合は直ちに受診(医療機関での検査は無料)を促すか、職場での検査(私費の抗原定性検査)を実施し、陽性の場合には直ちに受診させる。

陽性者が発生

陽性者が
少人数の
場合

同時に5人
以上のクラ
スターが発
生した場合

保健所が介入

対応

陽性者と接触した従業員に対し、

- 7日間、ハイリスク者との接触などの行動を控えるよう求め、症状がある場合は受診を促す。
- 健康状態の確認、感染リスクの高い場所の利用や会食を避けるように求める。

- 濃厚接触者を特定し、必要な検査を実施する。(行政検査)
- 検査結果が陰性であった場合、濃厚接触者に対して、7日間の待機を要請(私費の抗原定性検査を4日目、5日目に行うことにより短縮可能)。解除の判断を保健所へ確認する必要はない。

観光応援キャンペーンの開始

埼玉県をお得に旅行できる2つの観光応援キャンペーンを**4月から開始**します。

① とくとき埼玉！観光応援キャンペーン（10万人分）

- ・ 対象は埼玉県民及び全国からの宿泊旅行者
- ・ 土産物店などで利用できるクーポン券を1人最大3千円分配布
- ・ 配布期間は**4月2日(土)～4月28日(木)宿泊分**
- ・ 利用期間は4月29日(金)まで
- ・ 配布施設は123施設、クーポン券取扱い店舗は1,911店舗

② 旅して！埼玉割観光応援キャンペーン（43万人分）

- ・ 対象は埼玉県民及び茨城県・群馬県・千葉県・山梨県・長野県からの旅行者
- ・ 日帰り・宿泊代金50%割引（上限5千円）と地域観光クーポン券2千円分を配布
- ・ 事前予約が必要。**4月1日(金)から予約開始**
- ・ **対象期間は4月2日(土)～4月28日(木)宿泊分**

※ 利用条件として、ワクチン（県民2回、県外3回接種）・検査パッケージの適用が必要

○ 詳細は、県公式観光サイト「ちょこたび埼玉」をご覧ください。

◇ 「新しい旅のエチケット」を参考に、安全・安心な旅をお願いします。



春の埼玉県を
お得に観光していただけ
ますわ♪

埼玉バーチャル観光大使（VTuber）
『春日部つくし』

Go To Eat 食事券の販売再開

新型コロナウイルス感染症拡大により停止していたGo To Eat 食事券（追加券）の予約・販売を再開します。

Go To Eat 食事券の販売再開

- 再開日 令和4年4月 5日（火）
- 利用期限 令和4年5月31日（火）
- 食事券（追加券）の概要

- ・ 販売価格 1万円（20%のプレミアム）
- ・ 発行額 84億円（発行冊数 70万冊）
既発行額 : 2億7,518万4千円（2万2,932冊）
再開後発行額 : 81億2,481万6千円（67万7,068冊）
- ・ 購入方法 専用Webサイトで予約後、ローソンで支払・発券
- ・ 登録店舗 約9,200店舗



※ 利用期限が決まっているため、使い切れる範囲で御購入ください。

※ 登録店舗は、「彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店+」の認証を受けている飲食店であり、安心して御利用ください。

※ 詳細は、「Go To Eat キャンペーン埼玉県プレミアム付食事券」公式ホームページを御覧ください。

令和4年4月1日付け人事異動

人事異動の基本方針

① 今後起こりうる様々な社会変化に柔軟に行動できる人財の登用

社会全体のDXIに向けた取組の深化、人口減少社会や異次元の高齢化、更には自然災害の激甚化・頻発化など大きな変化の時期を迎えている本県において、想像力を働かせ、柔軟に、所管にとらわれずに行動できる人財を登用する。

② 困難な課題にチャレンジしている人財の登用

日本一暮らしやすい埼玉の実現に向けて、「県民目線」、「コスト意識」、「縦割り行政の打破」を意識し、行財政改革をはじめとした本県の困難な課題にチャレンジしている職員を積極的に登用する。

③ マネジメント力ある人財の登用

大きな変革期に必要な若い職員の感性やアイデアを引き出すなど、個々の職員の意欲、能力を高め、県庁一丸となって業務を遂行するマネジメントができる職員を積極的に登用する。

異動者数

※教育局、警察本部を除く

2,418人（前年度比▲60人）

令和4年4月1日付け人事異動

部長・特別秘書への登用

知事室長	小池 要子	(59)	環境部長から
危機管理防災部長	三須 康男	(57)	行政・デジタル改革局長から
環境部長	目良 聡	(57)	産業労働部 副部長から(昇任)
福祉部長	金子 直史	(58)	地域包括ケア局長から(昇任)
保健医療部長	山崎 達也	(59)	福祉部長から
農林部長	小畑 幹	(59)	川越農林振興センター所長から(昇任)
知事特別秘書	渡辺 充	(62)	埼玉県浦和競馬組合 副管理者兼事務局長事務取扱から

令和4年4月1日付け人事異動

女性活躍の推進

- ・女性職員の積極的な職域拡大・人材育成に配慮した人事配置
- ・女性管理職の人数・割合は過去最高を更新

○女性職員の登用状況

女性管理職	令和3年度	令和4年度
人数	100名	111名
割合	11.8%	13.2%

○初めて女性を登用(課長級以上)※主なもの

知事室長	小池 要子 (59)	環境部長から
副報道長	高橋 理絵 (52)	産業労働政策課 調整幹から(昇任)
災害対策課長	小沢 きよみ (53)	北部地域振興センター 副所長から
先端産業課長	荏原 美恵 (52)	産業振興公社総務企画部長から

○本庁のすべての部局に女性課長を登用

- ・本庁各部局に1人以上の女性課長を配置。
- ・部長自ら女性課長のサポーターとなり、能力向上を後押し。

令和4年4月1日付け人事異動

新型コロナウイルス感染症への対応(保健医療部の体制)

- ・新型コロナウイルス感染症をはじめ保健・医療の課題に対応するため局長制を導入
- ・新たに医療政策幹・ワクチン対策幹を設置し体制を更に強化

保健医療部長	山崎 達也	(59)	福祉部長から
保健医療部参事	本多 麻夫(医師)	(59)	留任
健康政策局長	小松原 誠	(56)	保健医療部 副部長から
医療政策局長	縄田 敬子	(53)	保健医療政策課長から(昇任)
保健医療政策課長	高窪 剛輔	(51)	県立病院機構本部長から
感染症対策課長	山口 隆司	(50)	県民生活部副参事から
医療政策局長付医療政策幹	中村 寛	(51)	小川町副町長から
医療政策局長付ワクチン対策幹	関根 良和	(50)	伊奈町副町長から

ほかに、感染症対策課に政策幹2名と感染症対策幹を配置

令和4年4月1日付け人事異動

誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉」の実現

- ・あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会が実現できるよう、**即戦力・突破力**を有し、**果敢にチャレンジしプロジェクトを推進できる人材を配置**

○埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進

環境未来局長	横内 ゆり	(53)	出納総務課長から(昇任)
エネルギー環境課長	桑折 恭平	(33)	総務省から
地域エネルギー企画幹	石塚 智弘	(60)	環境部参事から

○共生社会プロジェクト(LGBTQ)の推進

県民共生局長	田沢 純一	(58)	県民生活部参事から
人権・男女共同参画課長	小川 美季	(54)	男女共同参画課長から
人権・男女共同参画課共生推進幹	川端 秀治	(54)	県民生活部副参事から

○プロジェクト推進のため統括参事を強化

統括参事	┌	部長級	中山 貴洋	(43)	政策・財務局長から(昇任)
		副部長級	岩崎 寿美子	(55)	県民共生局長から
		課長級	内田 貴之	(50)	戸田市副市長から